

2026 年 9 月 7 日
株式会社ビーエムジー

「ライデックス シーラント」 2026 年 9 月 1 日より保険適用開始

― 肺切除術後の空気漏れの閉鎖に用いる吸収性組織補強材の臨床導入に向けて ―

株式会社ビーエムジー（本社：京都市南区、代表取締役社長：玄 優基、以下「当社」）は、当社が開発した医療機器「ライデックス シーラント」について、2026 年 9 月 1 日付で保険適用が開始されたことをお知らせいたします。

厚生労働省より 2026 年 8 月 31 日付で公表された「医療機器の保険適用について」において、「ライデックス シーラント」は区分 A2（特定包括）として保険適用されました。

「ライデックス シーラント」について

「ライデックス シーラント」は、肺切除術において、縫合、ステープラー等による処置を行った後に残存する空気漏れの閉鎖を目的として使用される吸収性組織補強材です。

当社が長年培ってきたバイオマテリアル技術を基盤として開発した製品で、血液由来原料を使用せず、生体内で分解・吸収される材料設計を特徴としています。

本製品は、臨床試験を含む評価を経て製造販売承認を取得しており、このたびの保険適用により、保険診療下で本製品の臨床導入を進めるための環境が整いました。

今回の保険適用について

今回、「ライデックス シーラント」は区分 A2（特定包括）として保険適用されました。A2（特定包括）は、医療機器そのものに個別の材料価格が設定される区分ではなく、特定の診療報酬項目の中で包括的に評価される区分です。

当社では、今回の保険適用を、本製品の医療現場への導入に向けた重要な一歩と位置づけています。なお、本製品については、製造販売後の安全性、有効性および使用実態を確認するため、全例使用成績調査の対象となっており、当社は適正使用の推進と必要な情報収集に取り組んでまいります。

今後の展開

当社は、「ライデックス シーラント」の臨床現場への導入を進めるとともに、医療機関への適正使用に関する情報提供に取り組んでまいります。

あわせて、全例使用成績調査等を通じて、実臨床における安全性、有効性および使用実態に関するデータを収集・蓄積してまいります。

これらのデータを踏まえ、実臨床における本製品の医療上の価値に関するエビデンスを構築し、将来的な保険上のさらなる評価につなげることを目指します。

当社は今後も、独自のバイオマテリアル技術を通じて、医療現場の課題解決と患者さんへの新たな治療選択肢の提供に取り組んでまいります。

製品概要

販 売 名	ライデックス シーラント
一般的名称	吸収性組織補強材
保険適用開始日	2026 年 9 月 1 日
保険適用区分	A2（特定包括）
製造販売業者	株式会社ビーエムジー

株式会社ビーエムジーについて

当社は、1983 年に創業した京都大学発のバイオマテリアルベンチャーです。創業以来、生体吸収性ポリマーをはじめとする独自の材料技術の研究開発・製造を通じて、大学発技術の社会実装に取り組んでまいりました。近年は、細胞保存技術をはじめとする再生医療関連分野へと事業領域を広げ、独自の材料技術を基盤に、未来医療を支えるインフラの実現を目指す企業として歩みを進めています。

会 社 名	株式会社ビーエムジー（BMG Inc.）
所 在 地	京都市南区東九条南松ノ木町 45 番地
代 表 者	代表取締役社長 玄 優基（げん ゆうき）
設 立	1983 年 6 月 28 日
事 業 内 容	生体吸収性医療材料の研究開発・製造・販売
U R L	https://www.bmg-inc.com/

本件に関する報道関係のお問い合わせ先

株式会社ビーエムジー 総務グループ
TEL：075-681-0787 E-mail：genaff@bmg-inc.com